



Orbray株式会社 ふるさと企業大賞受賞!

地域の活性化などに貢献した事業者を表彰する「ふるさと企業大賞(総務大臣賞)」に精密部品メーカーのOrbray株式会社(代表取締役社長: 並木里也子)が選ばれ、11月21日、表彰状伝達式が行われました。



左から(財)地域総合整備財団 末宗 徹郎 理事長、Orbray株式会社 並木 社長、佐藤市長



愛宕工場のシアタールーム(オーディオルーム)にて、レコード針に関する説明、視聴会を開催。

ふるさと企業大賞は、一般財団法人・地域総合整備財団(ふるさと財団)から融資を受けた民間企業のうち、地域振興や地域経済の活性化など、魅力あるふるさとづくりに貢献していると認められた企業に贈られるものです。

Orbray株式会社(オーブレイ)は、湯沢工場に勤務する従業員のおよそ8割が県内出身者、市内居住者も6割と、市の雇用創出に貢献していること、また、地域の学生の見学受け入れや、ワークショップの開催などの地域貢献活動を精力的に実施していることなどが評価され受賞しました。そのほか、クリーンアップの実施や植樹、ユニフォームの再利用など、SDGsへの積極的な取り組みも高い評価を得ています。

今後、さらなる地域雇用の促進、地域の経済への貢献を一層追求し、地域に根差した企業を目指すというオーブレイ。2026年には湯沢市への本社機能の一部移転を計画しています。

並木里也子代表取締役社長は「来年創業85周年を迎え湯沢市での操業は57年になります。創業以来の宝石加工技術を生かし、湯沢を拠点に世界に製品を提供してきました。携帯音楽プレーヤー、LED、携帯電話用振動モーターなど、オーブレイの技術なくしては実現できなかった製品はたくさんあります。オーブレイはこの湯沢の地から人々のライフスタイルを変えてきました。そしてこれからの次世代半導体の分野でも、湯沢から世界を変えていきたいと思っています」と話しました。



オーブレイの高度な加工技術で湯沢から世界を変えていきたい